

佳作

お母さんありがとう

鹿児島県 南九州市立大丸小学校三年 桐木平 仁那

「自分のいのちは、自分でまもるんだよ。」

これは、わたしが、お母さんからよく言われる言葉です。なぜ、そう言われるのか考えたら、お母さんとわたしは、一日中ずっといっしょにいられるわけではなく、お母さんがいない時は、自分でいのちをまもるしかありません。

わたしが、お母さんのおなかの中にいる時、予定日より一ヶ月半も早く生まれそうになり、お母さんはいんしました。びょういんで、元気でけんこうな子どもが生まれますようにとねがいがながら、毎日すごしていたそうです。

女の子が生まれるということ、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、家族みんなが、とても楽しみに待っていたことを、お母さんから聞きました。もしかしたら、早くみんなに会いたくて、

予定日まで待てなかったのかも知れません。

お母さんの朝は、とてもいそがしいです。朝ごはんのじゅんび、お弁当作り、せんたく物ほし、洗い物、自分のじゅんびと、すわるひまもなく走り回っています。お仕事から帰って来ると、ばんごはんを作ったり、せんたく物をたたんだり、宿題のチェックをしてくれたりします。

お母さんのすきなところは、やさしくておもしろくて、料理が上手なところです。わたしがいいことをしたり、テストでいい点数を取ったりすると、

「よくがんばったね。」
とほめてくれるので、また次がんばろうという気持ちになります。

「お母さんが、うれしいことはなあに。」
と、いそがしいお母さんにたずねたことがあります。すると、

「いつも大変なお母さんを見ていて、少しでも助かせようと、手伝いをしてくれること。とても助かるし、になのこをたよりにしているよ。」
という返事が返ってきました。わたしは、うれしくて、これからお手伝いをしようと思いました。

お母さんが元気だと、わたしも楽しくなるし、家

の中も明るくなります。反対に、お母さんが元気がないと、わたしもかなしくなるし、家の中も暗くなります。お母さんは、部屋の中の電気みたいになくてはならないそんざいなんだなあと 생각합니다。

女の子らしい二文字のかわいい名前をつけたかったお母さん。「ニーナ」という外国語で太陽という意味をもつ言葉で、太陽のように周りを明るくする女の子になるようにとねがいをこめて付けられた『にな』という名前が大好きです。

わたしも、いつか結こんで子どもを生んでお母さんになるとしたら、お母さんみたいに、明るい笑顔あふれるお母さんになりたいと思います。お母さん、いつもありがとう。